

現在の著作は主に個人ホームページ（生き物の文明への黙示録）に掲載しており、印刷出版していない。電子出版は出版社の企画によらず、自由に書けるし、読みたい人が無料で読むことができる。国会図書館に、植物と人々の博物館サイトごと更新収録されるので、50 余年の研究成果を文献 資料として残すことができる。

最近の研究業績（2014～現在）

2026

2025

黍稷農季人 2025、巻頭言：近未来への希望の在処、民族植物学ノオト第 18 号：1.

木俣美樹男・長濱和代 2025、環境学習による心の構造と機能の文化的進化-人新世における自己家畜化について、民族植物学ノオト第 18 号：6-20.

木俣美樹男 2025、日本環境教育学会史における認識の修正および異見、民族植物学ノオト第 18 号：21-31.

木俣美樹男 2025、日本の大学探検部の始まりと学大探検部の系譜、民族植物学ノオト第 18 号：32-39.

山口晶 2025、心の構造と機能を考える、民族植物学ノオト第 18 号：40-41.

木俣美樹男 2025、雑穀の民族植物学-インド亜大陸の農山村から（電子版）、植物と人々の博物館。

Mikio KIMATA 2025, Key Elements of Millet Ethnobotany, (Electric publishing), Plants and People Museum.

2024

黍稷農季人 2024、巻頭言：風の時代に心を深く考える、民族植物学ノオト第 17 号：1.

黍稷農季人 2024、この阿修羅は天道の門の近くに咲く草花に転生する～風の時代に心を豊かに育む～、民族植物学ノオト第 17 号：55-70.

木俣美樹男 2024、雑穀街道普及会の顛末記：多くの感謝と少しの謝罪～見捨てられた穀物への多くの感謝と少しの謝罪、民族植物学ノオト第 17 号：1-54.

木俣美樹男 2024、環境学習による心の構造と機能の文化的進化、第 35 回日本環境教育学会大会。

木俣美樹男・福田恵一・長濱和代・小柳知代 2024、希望を創る環境学習を求めて、第 35 回日本環境教育学会大会。

2023

黍稷農季人 2023、巻頭言：個人を確かめ、超えていく存在、民族植物学ノオト第 16 号：1.

木俣美樹男 2023、植物と人々の博物館小史、民族植物学ノオト第 16 号：47-93.

木俣美樹男 2023、随筆国際雑穀年 2023 への餞、雑穀研究 No. 37:21-24.

木俣美樹男 2023、果てしない雑穀の物語、雑穀研究 No. 38:35-37.

木俣美樹男 2023、雑穀は生物文化多様性豊かな食と農の文化残したい、女性のひろば通巻 529 : 47-51。

木俣美樹男 2023、巻頭言、生きている文化財―雑穀と家族農業に誇りある未来を、国際農林業協力 46 (1) : 1。

木俣美樹男 2023、2023 年は国際雑穀年～日本の雑穀街道文化を FAO 世界遺産に、木俣美樹男さんインタビュー、つぶつぶ vol. 15:2-4。

Mikio KIMATA 2023、

木俣美樹男 2023、雑穀物語 1、立花登さん夫妻、つぶつぶ vol. 16:14。

木俣美樹男 2023、雑穀物語 2 降矢静夫さん夫妻、つぶつぶ vol. 17:17。

木俣美樹男 2023、雑穀物語 3 椎葉秀行さん夫妻、つぶつぶ vol. 18:19。

木俣美樹男 2023、雑穀物語 4 貝澤薫さん夫妻、つぶつぶ vol. 19:。

木俣美樹男 2023、三桎の小毬、クリンネス通巻 447 号 : 20。

木俣美樹男 2023、薔薇の色と香、クリンネス通巻 449 号 : 32。

木俣美樹男 2023、紫陽花の色の移ろい、クリンネス通巻 451 号 : 12。

木俣美樹男 2023、再生への百日紅、クリンネス通巻 453 号 : 18。

木俣美樹男 2023、満月を仰ぐ紫苑、クリンネス通巻 455 号 : 25。

木俣美樹男 2023、木枯らしにも凜々しい山茶花、クリンネス通巻 457 号 : 9。

2022

木俣美樹男 2022、第四紀植物（電子版）、植物と人々の博物館。

木俣美樹男 2022、日本雑穀のむら（電子版）、植物と人々の博物館。

黍稷農季人 2022、巻頭言人新世の姿形寡聞、民族植物学ノオト第 15 号 : 1。

山口晶 2022、大学とは何だろうか～ 木立の冬、そして大学論へ、民族植物学ノオト第 15 号 : 42- 91。

降矢静夫・木俣美樹男 2022、山村農人降矢静夫対話集（電子版）、植物と人々の博物館。

木俣美樹男編 2022、降矢静夫光岑書簡集～最後の山村農人からの贈物、希望（電子版）、植物と人々の博物館。

木俣美樹男 2022、早春に香る蠟梅と梅、クリンネス通巻 435 号 : 9。

木俣美樹男 2022、春爛漫の桜の香り、クリンネス通巻 437 号 : 9。

木俣美樹男 2022、雨間に匂う梔子、クリンネス通巻 439 号 : 20。

木俣美樹男 2022、暑熱も清涼に香る縮砂、クリンネス通巻 441 号 : 9。

木俣美樹男 2022、キンモクセイの香りと実、クリンネス通巻 443 号 : 10。

木俣美樹男 2022、冬に香る枇杷の妙味、クリンネス通巻 445 号 : 18。

2021

木俣美樹男 2021、正月歳神様を寿ぐ植物、クリンネス通巻 422 号 : 9。

木俣美樹男 2021、春に招く桃の節供、クリンネス通巻 424 号 : 10。

木俣美樹男 2021、五月晴れの端午の節句、クリンネス通巻 426 号 : 10。

木俣美樹男 2021、星に祈る七夕祭り、クリンネス通巻 428 号 : 12。

木俣美樹男 2021、菊薫る重陽、クリンネス通巻 430 号 : 14。

木俣美樹男 2021、花のように生きる、クリンネス通巻 432 号 : 17。

木俣美樹男 2021、巻頭言、素のままの美しい暮らしと持続可能な開発目標、民族植物学ノオト第 14 号： 1。

木俣美樹男 2021、山村農人の教養～降矢静夫 20 世紀末の山里暮らし～、民族植物学ノオト第 14 号： 52-75。

文福洞先斗 2021、日本のムラ社会における撥撫発生の事例分析、民族植物学ノオト第 14 号： 76-115。

黍稷農季人 2021、孤独と孤立～ムラ社会の撥撫に抗う心の構造と機能（電子版）、植物と人々の博物館。

木俣美樹男 2021、食べ物と農耕に依拠する私たちの不易の暮らし、環境と文明 29（11）： 5-6。

木俣美樹男 2021、環境学習原論～人世の核心；増補改訂版（電子版）、植物と人々の博物館。

2020

木俣美樹男 2020、巻頭言、老衰したこの国にも再生の春を希求する、民族植物学ノオト第 13 号： 1- 2。

木俣美樹男 2020、インド関連の農業書および古典等に見られる穀物、民族植物学ノオト第 13 号： 17-34。

木俣美樹男 2020、まねごと山村農の 6 年記、民族植物学ノオト第 13 号： 35-60。

木俣美樹男 2020、降矢静夫光岑書簡集（電子版）、植物と人々の博物館。

文福洞先斗 2020、冒険探検粉塵記改訂版（電子版）、植物と人々の博物館。

木俣美樹男 2020、家族の物語：アシュラと禰豆子を事例に、環境と文明 27（7）： 5-6。

2019

木俣美樹男 2019、巻頭言、商品ではない任意無償性への敬意、民族植物学ノオト第 12 号： 1。

木俣美樹男 2019、先真文明時代への覚書 5、文明の野蛮へ退行、民族植物学ノオト第 12 号： 17- 36。

木俣美樹男 2019、自分で日本国憲法を考える 3、民族植物学の視点から憲法に環境原則を加える提 案のゆくえ、民族植物学ノオト第 12 号： 37-57。

木俣美樹男 2019、雑穀は世界を救う、自然栽培： 20-28。

木俣美樹男 2019、環境学習原論～人世の核心（電子版）、植物と人々の博物館。

木俣美樹男 2019、自分で考える日本国憲法（電子版）、植物と人々の博物館。

木俣美樹男 2019、先真文明の時代（電子版）、植物と人々の博物館。

2018

木俣美樹男 2018、巻頭言、解きたい謎—西暦第 2 千年紀に生きる、民族植物学ノオト第 11 号： 1。

木俣美樹男 2018、九州・沖縄地方における雑穀農耕文化複合、民族植物学ノオト第 11 号： 7-50。

木俣美樹男 2018、自分で日本国憲法を考える、第 2 報 憲法に書き加える環境原則、民族植物学ノ オト第 11 号：51-55。

木俣美樹男 2018、信仰の個人主義を探る一発端：科学への妄信を越えるために、民族植物学ノオト 第 11 号：56-62。

木俣美樹男ほか 2018、シンポジウム報告；憲法に環境（持続性）原則の導入を～改憲論議は 9 条問題だけではない、環境と文明 26（12）：4-10。

2017

木俣美樹男（監修）2017、こどもかんきょう絵じてん、三省堂、東京。

木俣美樹男 2017、インドにおけるカリフ農耕文化の構成要素である雑穀の栽培化過程と伝播、南アジア学会（東京）。

木俣美樹男 2017、焼畑の作物、特に雑穀の栽培方法と現代的価値、椎葉焼畑研究会。

木俣美樹男 2017、タネは誰が守るの？種子法の廃止を受けて、では何が出来るか、日本パーマカルチャー・センター。

木俣美樹男 2017、巻頭言、生活世界の平安保守、民族植物学ノオト第 10 号：1。

木俣美樹男 2017、欧米の雑穀見聞録、民族植物学ノオト第 10 号：58-61。

木俣美樹男 2017、自分で日本国憲法を考える、民族植物学ノオト第 10 号：62-107。

木俣美樹男 2017、学習生態および思考形態とこのくにの過誤、環境と文明 25（10）：8-9。

2016

木俣美樹男 2016、巻頭言 多様な生活文化の中の雑穀（特集）、民族植物学ノオト 9：1。

Kimata Kimata M. 2016, Domestication process and linguistic differentiation of millets in the Indian subcontinent, Ethnobotanical Notes 9: 12-24.

Kimata M. 2016, Tertiary domestication process of korati, *Setaria pumila* (Poaceae) through the mimicry to other grain crops in the Indian Subcontinent, Ethnobotanical Notes 9: 25-38.

Kimata M. 2016, Domestication process of korati, *Setaria pumila* (Poaceae), in the Indian subcontinent on the basis of cluster analysis of morphological characteristics and AFLP markers, Ethnobotanical Notes 9: 39-51.

Kimata M. 2016, Domestication and dispersal of *Panicum miliaceum* L. (Poaceae) in Eurasia, Ethnobotanical Notes 9: 52-65.

Kimata, M., Y. Ishikawa, H. Kagami, A. Otsubo and K. Otsuka 2016, Agricultural complex of millets in the Indian subcontinent, Ethnobotanical Notes 9: 2-11.

木俣美樹男 2016、嗜好品、植物学の百科事典、724-725、丸善、東京。

2015

木俣美樹男 2015、巻頭言—新しがりの病を治して、再び人が生きる道の復興 renaissanceへ、民族植物学ノオト 8：1。

木俣美樹男 2015、生きるという任意・自律的な営為を動かす心情の省察、民族植物学ノ オト 8：23-66。

2014

木俣美樹男 2014、ホームガーデンによる生物文化多様性保全と家族食料安全保障—特集 にあたって、調査研究の概要と趣旨—、環境教育学研究 23 : 19-30。

木俣美樹男 2014、岩手県の雑穀栽培と家族・地域の食料安全保障、環境教育学研究 23 : 103-130。

木俣美樹男 2014、教科『環境科』の予備的検討、環境教育 24 (1) : 150-159。 木俣美樹男、2014、生涯にわたる環境学習過程の構造—環境学習原論の構築に向けて—、環境教育 24 (2) : 1-14。

木俣美樹男 2014、植物と人々とのかかわりの文化誌—学問としての民族植物学、クリンネス通巻 344 : 2-7。イカリ環境事業グループ、東京。

木俣美樹男 2014、子どもたちへの環境教育①冒険の日々、クリンネス通巻 346 : 16。

木俣美樹男 2014、子どもたちへの環境教育②農学校の今日、クリンネス通巻 347 : 12。

木俣美樹男 2014、子どもたちへの環境教育③彩色園の生物文化多様性、クリンネス通巻 349 : 26。

木俣美樹男 2014、 4.6 生物季節から生物文化多様性へ、山下脩二・樋口利彦・吉富友恭編、環境の学習と観測にもとづいたグローブプログラムの理論と実践—学校における観測活動から地球と地域の環境を考える—、149-155、古今書院、東京。

木俣美樹男 2014、巻頭言：ひとを評価する教養と専門性：、民族植物学ノオト 7: 1。

木俣美樹男 2014、先真文明時代への覚書：、民族植物学ノオト 7: 29-37。

木俣美樹男 2014、自らを問う — 事例 0 を伴う付録資料：、民族植物学ノオト 7:38-47。

木俣美樹男 2014、付録 1。東京学芸大学民族植物学研究室が関わる国内外の学術調査の記録：、民族植物学ノオト 7: 48。

木俣美樹男 2014、付録 2。東京学芸大学民族植物学研究室が関わる卒業論文、修士論文、博士論文の記録、民族植物学ノオト 7: 49-52。

木俣美樹男 2014、未来のための伝統的知識の再創作、中山間地に残る伝統的知識による地域活性化に関する調査研究報告書「伝統知の現代的価値を求めて Traditional Knowledge」、p.8、緑と水の森林ファンド事業助成、ECOPLUS。

木俣美樹男 2014、地域あるいは場での環境学習の意義—職場と仕事、学校と家庭・地域、学びと仕事、p.33-40、高野孝子編著「PBE 地域に根ざした教育、持続可能な社会づくりの試み」、海象社、東京。

木俣美樹男 2014、若手研究者へのメッセージ—動き、考え、読み、書く—環境教育学の論文を書くということ、日本環境教育学会若手学会員の集い（2014.8.1、法政大学、東京）